

特級グランドコンチェルト 2024

古海行子
2022ダブリン国際ピアノコンクール第2位

森本隼太
2022ヘイスティングス国際協奏曲コンクール優勝

田村響
2007ロシアン・インターナショナル国際コンクール優勝

三人

ピアノコンチェルト

名曲選

ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番 ハ短調 Op.18 古海行子

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 Op.23 森本隼太

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」 変ホ長調 Op.73 田村響

指揮:藤岡幸夫 管弦楽:関西フィルハーモニー管弦楽団

2024.8.30(金) 18:30 開演 ザ・シンフォニーホール
(17:30 開場)

入場料(全席指定・税込):S席6,000円/A席5,000円

【プレイガイド】ザ・シンフォニー チケットセンター Tel.06-6453-2333(火曜定休) / ビティナ・チケット / e+(イープラス) <https://eplus.jp>

【シンフォニア会員先行】5/23(木) 10時~

【一般発売】6/2(日) 10時~

公演に関するお問合せ:一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 03-3944-1583

主催:一般社団法人全日本ピアノ指導者協会 / ザ・シンフォニーホール



「劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業」

※18歳以下の子供を無料、同伴する保護者等を半額席を設置(約150席)
※お取り扱い、ビティナ・チケットのみとなります



特級

ピアノ協奏曲の王道、
そろい踏み

グランドコンチェルト2024



「いま最も聞いていただきたいコンチェルトとピアニスト」を一堂に集めた「特級グランド・コンチェルト」第3弾!

前半は、ロシアのソートップ、ラフマニノフの2番とチャイコフスキーの1番を、2021年のショパンコンクールで日本人ピアニスト躍進の一翼を担った古海行子と、弱冠16歳で単身世界に飛び出し、国際コンクール優勝者を数えきれないほど輩出するコモ湖国際ピアノアカデミーに学ぶ森本隼太のソロで。

後半は、20歳でフランスの名門「ロン・ティボー国際音楽コンクール」で優勝の後、日本中のオケや室内楽奏者からも絶大な信頼を集め、今や演奏家としての「旬」を迎えた田村響が、コンチェルトの王者、ベートーヴェンの「皇帝」でそのブリリアントなピアニズムと濃密なアンサンブルを披露します。一期一会の夢のひとつ、ぜひお聞き逃しなく!

加藤哲礼



©Shin Yamagishi

藤岡 幸夫(ふじおか・さちお/指揮) Sachio Fujioka

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年、「サー・チャールズ・グロヴス記念奨学賞」を特例で受賞。1994年「プロムス」にBBCフィルを指揮してデビュー以降、数多くの海外オーケストラに客演。マンチェスター室内管弦楽団、日本フィルを経て、現在関西フィル首席指揮者と東京シティ・フィル首席客演指揮者を務める。毎年40公演以上を共演し2024年に25年目のシーズンを迎えた関西フィルとの一体感溢れる演奏は常に高い評価を得、2019年の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集めている。英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、関西フィルとのシベリウス交響曲全集を2021年9月ALM RECORDSからリリース。著書「音楽はお好きですか?」「続・音楽はお好きですか?」を散文舎から刊行。関西フィルと共に出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)は2023年10月で10年目に突入、放送500回に迫る人気番組。

<http://www.fujioka-sachio.com/> X(旧Twitter)@sacchiy0608

関西フィルハーモニー管弦楽団 Kansai Philharmonic Orchestra

1970年発足。2018年公益財団法人化。2020年楽団創立50周年。関西を代表する楽団の一つ。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイは2008年より首席客演指揮者を務め、2011年より楽団初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2000年より正指揮者を務め、2007年より首席指揮者に就任。鈴木優人は2023年より首席客演指揮者に就任。故飯守泰次郎(2023年8月没)は2001年より常任指揮者、2011年より桂冠名誉指揮者を務めた。2015年には東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、2020年には門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視している。BSテレビ東京「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜8:30~)に藤岡幸夫と共に出演中。2015年には、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアーを開催。2023年10月にも、ベルギー・フランス・ドイツの3カ国3都市を巡る2度目のヨーロッパツアーを開催し、各地で大きな注目を集めた。2021年度・2022年度音楽クリティック・クラブ賞本賞受賞。

<http://www.kansaiphil.jp/>



©S.yamamoto

2022 ダブリン国際ピアノコンクール第2位

古海行子(ふるみ・やすこ/ピアノ)

Yasuko Furumi



©Masahiro Yamashiro

2022年第12回ダブリン国際ピアノコンクール第2位を受賞、2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。2018年第4回高松国際ピアノコンクールにおいて日本人として初めて優勝。併せて委嘱作品演奏者賞、香川県知事賞、高松市長賞、公益財団法人松平公益会賞、公益財団法人高松市文化芸術財団理事長賞を受賞。2019年第11回パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位。日本はもとより、イタリア、ポーランド、アメリカなど数多くのコンサートに出演。また日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団をはじめ、オーケストラとも数多く共演。日本コロムビアのOpus Oneレーベルより「シューマン:ピアノ・ソナタ第3番」でCDデビュー。最新アルバムは2023年11月発売「リスト:ピアノ・ソナタ」(DENONレーベル)。国内では2018年ビティナ・ピアノコンペティション特級銅賞受賞、2020、21年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。昭和音楽大学大学院、同附属ピアノアートアカデミー修了。これまでに、江口文子氏に師事。

松市文化芸術財団理事長賞を受賞。2019年第11回パデレフスキ国際ピアノコンクール第3位。日本はもとより、イタリア、ポーランド、アメリカなど数多くのコンサートに出演。また日本フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団をはじめ、オーケストラとも数多く共演。日本コロムビアのOpus Oneレーベルより「シューマン:ピアノ・ソナタ第3番」でCDデビュー。最新アルバムは2023年11月発売「リスト:ピアノ・ソナタ」(DENONレーベル)。国内では2018年ビティナ・ピアノコンペティション特級銅賞受賞、2020、21年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。昭和音楽大学大学院、同附属ピアノアートアカデミー修了。これまでに、江口文子氏に師事。

2022 ヘイスティングス国際協奏曲コンクール優勝

森本隼太(もりもと・しゅんた/ピアノ)

Shunta Morimoto



©Takumi Ueno

2022年ヘイスティングス国際ピアノ協奏曲コンクール優勝(イギリス)。2023年3月ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団とベートーヴェンのピアノ協奏曲第4番を演奏し、ロンドンデビュー。2004年生まれ。京都府出身。ヤマハ音楽支援制度奨学生として単身イタリアに留学。国内ではビティナ・ピアノコンペティションにて2018年G級金賞、2020年特級銀賞および聴衆賞、第8回福田靖子賞(第1位)等を受賞。海外では2019年PIANALE International Piano Academy & Competition審査員賞、特別賞KNS Classicalを受賞。2020年AOIDE Scholarshipを取得。令和3年度新進芸術家海外研修制度高校生研修員。コモ湖国際ピアノアカデミーにて特別生としてWilliam Grant Nabore氏、日本にて関本昌平氏、サンタ・チェチーリア音楽院にて伴奏をGiovanni Velluti氏の各氏に師事。

テティションにて2018年G級金賞、2020年特級銀賞および聴衆賞、第8回福田靖子賞(第1位)等を受賞。海外では2019年PIANALE International Piano Academy & Competition審査員賞、特別賞KNS Classicalを受賞。2020年AOIDE Scholarshipを取得。令和3年度新進芸術家海外研修制度高校生研修員。コモ湖国際ピアノアカデミーにて特別生としてWilliam Grant Nabore氏、日本にて関本昌平氏、サンタ・チェチーリア音楽院にて伴奏をGiovanni Velluti氏の各氏に師事。

2007 ロン・ティボー国際コンクール優勝

田村響(たむら・ひびき/ピアノ)

Hibiki Tamura



©武藤章

2007年ロン・ティボー国際コンクールにて弱冠20歳で優勝(フランス・パリ)。2009年ビュコフ指揮ケルン放送交響楽団にデビューおよび日本ツアーに参加他、N響、読響、都響、新日本フィル、日本フィル、名古屋フィル、京響、大阪フィル、日本センチュリー響、関西フィル、東京シティ・フィル、神奈川フィル、

仙台フィル、群響などと共演。ソロばかりでなく室内楽活動にも力を入れており、アントニオ・メネセス、宮田大等と共演。1986年愛知県安城市生まれ。ザルツブルク・モーツァルテウム音楽大学を経て2015年大阪音楽大学大学院修了。深谷直仁、清水皇樹、クラウディオ・ソアレス、クリストフ・リースケの各氏に師事。これまでに4枚のソロCDをリリース。受賞歴は、2002年ビティナ・ピアノコンペティション最年少15歳で特級グランプリ受賞。2023年アリオン賞、2006年出光音楽賞、2008年文化庁長官表彰・国際芸術部門、2008年安城市市民栄誉賞、2009年ホテルオークラ音楽賞、2015年文化庁芸術祭賞音楽部門新人賞、2015年愛知県芸術文化選奨文化新人賞、2017年京都市芸術新人賞などがある。現在、京都市立芸術大学准教授。